

教育だより

発行: 芦別市教育委員会学務課

☎0124-22-2111

目次	1面	コミュニティ・スクール準備委員会発足
	2面	子どもたちの学力の現状は？
	3面	家庭学習を当たり前にしよう
	4面	芦別小学校で外国語の乗り入れ授業 ほか

コミュニティ・スクール準備委員会発足

平成31年度、芦別中学校区(芦別小学校・芦別中学校)及び啓成中学校区(上芦別小学校・啓成中学校)に導入を予定しているコミュニティ・スクール(学校運営協議会)について、12月4日に第1回目の準備委員会を開催し、本格的な準備をスタートしました。

コミュニティ・スクール準備委員会の目的

- ① 保護者や地域の方に、制度改正等についての理解を深めてもらい、学校運営参画・協働への意識の高揚及び機運の醸成を図る。
- ② 中学校区学校運営協議会組織の中心的な役割を担ってもらうという意識づけを図り、コミュニティ・スクールの意義等について研修を深める。
- ③ 中学校区学校運営協議会設置に向けて、組織及び人選等についてのご意見をいただき、スムーズな移行に向けて協力をいただく。

コミュニティ・スクール準備委員会は、上記の3点を目的及び役割に設置したものです。保護者・地域の方(PTA連合会、学校関係者評価委員会、町内会連合会、民生委員児童委員協議会、社会教育委員)にご協力をお願いし、学校関係者を含めると、両中学校区合わせて18名の方に準備委員会委員をお引き受けいただき、その中から互選で、会長に芦別市立芦別中学校長の小林晃彦氏を、副会長に芦別市PTA連合会長の太田啓允氏を選出しました。

前半の全体会において、「地域とともにある学校づくり」を目指す背景や仕組み、役割、法改正の概要について説明後、後半は中学校区ごとの部会に分かれ協議を行いました。中学校区部会では、各学校から「地域の人材や資源を活用した特色ある教育活動」についての説明後、各委員から地域での取り組みや課題を出しあって交流を深めました。『学校の応援団としてPTA活動との整理、個人情報や不審者についての課題、地域の育成会でも子どもの数が減ってきているため、一堂に会せるような取り組みを期待する、地域の応援団として発信していきたい』などの話題が出され、芦口別の将来を担う子どもたちを地域総がかりで育てていこうという機運の高まりが図られた準備委員会となりました。

コミュニティ・スクール講演会を開催します!!

日時 平成31年1月30日(水)

午後6時から

場所 総合福祉センターふれあいホール

講師 北海道コミュニティ・スクールアドバイザー
櫻井 貴志 氏

コミュニティ・スクールの概要をわかりやすく説明します。市民の皆さんの参加をお待ちしています。



子どもたちの学力の現状は？

毎年4月に、文部科学省が児童生徒の学力や学習状況を把握し、課題を見つけ改善を図ることを目的として、小学校6年生と中学校3年生を対象に「全国学力（国語、算数・数学、理科）・学習状況調査」を実施しています。平成30年度の本市の結果と全国との比較は次のとおりです。

◎小学校6年生の状況

区分 比較	国語A				国語B				算数A				算数B			理科(3年に1回)									
	国語A	国語B	算数A	算数B	理科	話す聞く	書くこと	読むこと	国語の特質	話す聞く	書くこと	読むこと	国語の特質	数と計算	量と測定	図形	数量関係	数と計算	量と測定	図形	数量関係	物質	エネルギー	生命	地球
	相当高い																								
高い																									○
やや高い																									
ほぼ同様(高い)						○																			
同様					○							○													
ほぼ同様(低い)																							○	○	
やや低い																				○					○
低い		○	○			○					○			○	○										
相当低い	○			○				○	○	○					○	○	○	○	○	○	○				

※基準～全国の正答率との差 ※全国比:○

◇同様 … ±1ポイント未満

◇ほぼ同様(高い・低い) … ±1以上～±3未満

◇やや高い(低い) … ±3以上～±5未満

◇高い(低い) … ±5以上～±7未満

◇相当高い(相当低い) … ±7以上

□□分析結果□□

- ◆国語A： 全体では全国よりも相当低いが、書くことに関しては全国よりも高くなっています。
- ◆国語B： 全体では全国よりも低いが、読むことに関しては全国と同様となっています。
- ◆算数A： 全体では全国よりも低いが、数と計算・量と測定に関しては他の領域に比べて高くなっています。
- ◆算数B： 全体では全国よりも相当低いが、図形に関しては他の領域と比べて高くなっています。
- ◆理 科： 全体では全国と同様だが、生命に関しては全国よりも高くなっています。



◎中学校3年生の状況

区分 比較	国語A				国語B				数学A				数学B				理科(3年に1回)								
	国語A	国語B	数学A	数学B	理科	話す聞く	書くこと	読むこと	国語の特質	話す聞く	書くこと	読むこと	国語の特質	数と式	図形	関数	資料の活用	数と式	図形	関数	資料の活用	物質	エネルギー	生命	地球
	相当高い																								
高い																									
やや高い																									
ほぼ同様(高い)																									
同様																									
ほぼ同様(低い)								○																	
やや低い									○														○	○	
低い	○				○					○												○	○		○
相当低い		○	○	○		○	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				

※基準～全国の正答率との差 ※全国比:○

◇同様 … ±1ポイント未満

◇ほぼ同様(高い・低い) … ±1以上～±3未満

◇やや高い(低い) … ±3以上～±5未満

◇高い(低い) … ±5以上～±7未満

◇相当高い(相当低い) … ±7以上

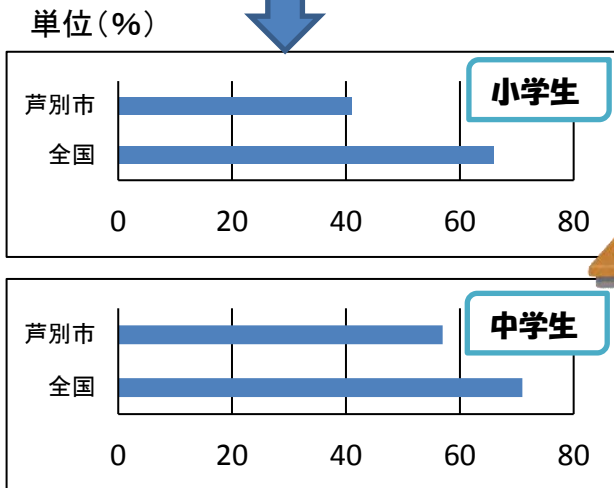
□□分析結果□□

- ◆国語A： 全体では全国よりも低いが、読むことに関しては全国とほぼ同様（低い）となっています。
- ◆国語B： 全体では全国よりも相当低いが、話す聞くことに関しては他の領域に比べて高くなっています。
- ◆数学A： 全体的に全国よりも相当低くなっています。
- ◆数学B： 全体では全国よりも相当低いが、資料の活用に関しては他の領域に比べて高くなっています。
- ◆理 科： 全体では全国よりも低いが、エネルギー・生命に関しては他の領域に比べて高くなっています。

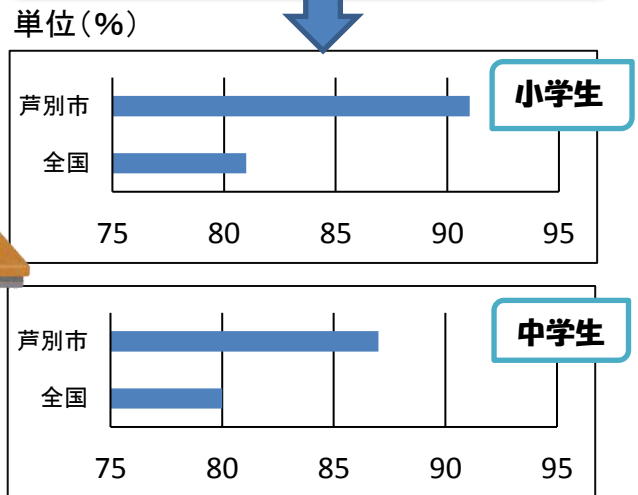
家庭学習を当たり前にしよう

全国学力・学習状況調査では、「児童生徒質問紙調査」により、子どもたちの学習習慣や生活習慣の調査も行っていますので、その一部をご紹介します。

1 家での勉強時間（月～金曜日）が1時間以上と回答した児童生徒の割合



2 放課後に家でテレビを見たり、ゲームやインターネットなどをして過ごす事が多い児童生徒の割合



☆調査結果からわかること・・・

家庭学習の習慣化については、全国学力・学習状況調査の結果を受け、各学校で年度当初に目標を掲げ、計画的に取り組んでいるところです。

全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙の結果からみると、残念ながら1時間以上勉強している子どもたちの数は、小学校・中学校とも全国を下回っています。その理由としては、家では多くの時間をテレビを見たりゲーム、インターネットなどをして過ごしている子どもたちの割合が多いことがあげられます。

全国学力・学習状況調査の学力の結果と、児童生徒質問紙から見える家庭での勉強時間には相関関係があり、勉強時間が多いほど学力が高いという結果になっています。 ?



☆学校ではどんな取組みをしているの？☆

各学校では、4月に「家庭学習の手引き」を配布したり、家庭と協力しながら「生活リズムチェックシート」を実施したりして取り組んでいるところです。また、中学校ではテスト週間には、きめ細かい学習計画を立てさせ、テストに臨んでいます。



☆家庭ではどうしたらいいの？☆

全国学力・学習状況調査で全国上位の福井県や秋田県の状態を見ると、家庭学習の定着には家庭の協力は欠かせないようです。どちらの県も学校の先生から言われてやるのではなく、「家庭学習をするのが当たり前」ということで、小さいうちから家庭で身につけられているようです。

早寝早起きを心掛けたり、テレビやゲームの時間をきめたり、規則正しい生活が身についていると、1日の予定を立てやすくなり、家庭学習をする時間も増えていきます。子どもの成長に合わせて、適切に関わり、家庭学習の習慣を身に付けさせましょう。

芦別小学校で外国語の乗り入れ授業

本市の小中一貫教育は、「小中の教職員が目指す子どもの姿を共有する」「義務教育9年間の系統性を踏まえた教育活動を進める」「児童生徒間の交流及び教職員の連携を進める」事を目的に、具体的な取組みを進めているところです。その趣旨を踏まえ、芦別中学校区で英語の乗り入れ授業が行われましたので紹介いたします。12月11日芦別小学校6年生の子どもたちを対象として、芦別中学校の



英語の西方先生と中学校ALT(外国語指導助手)のアレックス先生が来校し、小学校の担任の先生方とALTのファリッド先生と一緒に、外国語活動の時間に授業を行いました。「自分の好きな場所(芦別の中で)を相手に伝えることができる」ことを目標に、スターライトホテルや油谷温泉、スキー場などの自分の好きな場所を、言葉だけではなく文章でも書いて相手に伝えるという内容でした。中学校で学ぶようにほぼ英語で進められた授業でしたが、先生方やALTの温かい声かけの支援もあり、子どもたちは興味深い様子で、真剣にそして楽しそうに学習に取り組んでいました。

最後に、西方先生の「中学校で待っているよ!」という声かけに、目を輝かせている様子が印象的でした。

芦別市仲間づくり「子ども会議」を開催

本市では『いじめ』をなくすためのひとつの取組みとして、平成23年度から芦別市仲間づくり「子ども会議」を開催しています。この会議では、市内の小中学校と芦別高校・星槎国際高校の代表者が集まり、各学校のいじめに対する取組等について交流したり、対応策や課題について話し合っています。



今年は12月20日に開催され、『いじめられたら、どうしたらいいんだろう? いじめを見たら、どうしたらいいんだろう? いじめちゃったら、どうしたらいいんだろう?』をテーマに活発なグループ討議等を行い、

いじめを無くすためにどうしたらいいかを話し合いました。その内容を今後の活動に生かすために各学校に持ち帰っています。

各学校では、児童会・生徒会が中心となって『いじめ根絶』に向けた取組みを進めています。

芦別市のホームページに、いじめに関するページや、いじめ問題対策連絡協議会のページを開設しています。トップページの『いじめ対策』からご覧いただけます。こちらのQRコードから携帯電話・スマートフォンからもご覧いただけます。(芦別市ホームページURL: <http://www.city.ashibetsu.hokkaido.jp/>)
こちらのQRコードから携帯電話・スマートフォンからもご覧いただけます。



保護者・地域の皆さま

教育だよりは、本市の学校教育の現状や課題、さまざまな政策や取組みなどを広く市民の皆さんに知っていただき、情報を共有化するため年3回発行しています。

本市の学校教育の向上に関するご意見を「郵送」、「ファックス」、「電子メール」(様式自由)にてお寄せください。

【送付先】〒075-8711 芦別市北1条東1丁目3番地 芦別市教育委員会学務課学校教育係
【電話】0124-22-2111 【ファックス】0124-22-9696
【電子メール】gakumu@city.ashibetsu.hokkaido.jp